



令和6年3月  
定例会

# 美作市

# 議会だより

第9号

令和6年5月20日  
発行

## おもな内容

代表質問 .....	2
一般質問 .....	4
議案等審議結果 .....	9
委員会報告 .....	10
市議会からのお知らせ .....	14



国指定重要有形民俗文化財 林家住宅(美作市中谷)

— 船木山、後山(美作アルプス)を背景に —

# 代表質問

美作躍動会



- ◆代表質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。
- ◆3月定例会の代表質問発言順に掲載しています。
- ◆代表質問は年1回、市長の施政方針等の所信表明のある定例会で行うものです。
- ◆各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることが出来ます。

## ◆財政状況について

問 今後の財政状況の硬直化はないのか。また、見通しは。

答 市長答弁：令和6年度当初予算案は、発行期限が来る合併特例事業債を活用した庁舎の建設等、大型事業が重なり過去最大規模。人件費の上昇等、経常経費の増大という危惧する点はあるが、それを除けば財政計画の想定範囲内であり、5年後まで収支不足は生じない。減債基金を活用し繰上償還を継続的に実施し、健全な財政運営を心がけていく。

## ◆新たな子育て政策について

問 他の自治体より秀でた政策はあるのか。

答 県内初の事業として、ひとり親家庭の医療費の拡大給付と児童扶養手当の支給対象の拡大を計画している。また、不妊治療に対する補助対象のさらなる拡大を計画している。対象者を限定しない全ての保護者への支援も継続して検討する。

## ◆公共施設関連について

問 10施設の解体が行われるが、跡地はどのように維持管理を行うのか。また、五輪坊解体後の跡地及び宮本武蔵生誕地の今後の整備は。

答 市長答弁：解体後の跡地は、当面普通財産として管理をし、地

元や事業者等の要望があれば、譲渡や貸付けも含めた有効活用を努める。武蔵の里の再整備は、計画策定業務を再公募するかは未定だが、観光局では旅行者のアドバイスがもたらえる仕組みをつくりたいと考えている。

## ◆産業政策関連について

問 美作観光局に組織を改編のとことだが美作市観光への具体的なメリットは。

答 美作観光局では第2種旅行業を取得予定で、これまで湯郷温泉街で旅行商品として販売できなかった国内募集型企画旅行を実施することが可能になる。

## ◆市民部関連について

問 ライドシェアの交通空白地帯への導入はどのように取り組むのか。

答 主に夜間の交通手段が希薄な

湯郷地域内において観光客等を対象として交通空白地帯を有償旅客運送の仕組みを活用したサービスの運用を行い、ノウハウの蓄積を図る。市内各所に運行区域の拡大を目指す。



## ◆教育委員会関連について

問 勝田公民館建設について、今後の事業推進において若い世代の意見の取り入れについての考えは。

答 勝田地域の若者の中で意欲のある方々、アーバンスポーツの関係者等の方々を含めて意見交換をしていきながら要望等を聞き、計画に反映させたい。

○他の質問：「都市整備関連について」、「農林政策関連について」、「企画振興関連について」、「新庁舎、防災公園について」



わだ ひろのぶ  
和田 広宣



### ◆美作市の子育て政策について

**問** 保護者の要望で①子どもを安心して遊ばせる場所が欲しいと多く聞く。芝生公園や屋根付きスペースといった雨の日も子どもが遊べる場所ができないか。

②小中学校への進学時の制服代等の助成ができないか。

③保育園の受入れ対象とならない生後0から6か月乳幼児の短時間保育を可能とし、24時間育児の保護者が短時間の休息をとれる(レスパイト保育)制度が創設できないか。

**答** 市長答弁：ご指摘の3点は、私共の耳にも届いている事項である。子どもの遊び場は、防災公園において、子どもが家族と共に過ごせる芝生公園のようなものを整備する方向で意見

調整・議論している。また、小中学校進学時の保護者の負担、乳幼児レスパイト保育は、今後の課題として議論が継続される。



### ◆都市整備について

**問** ①庁舎建設に加え、駐車場整備、防災公園、周辺の宅地化、丘陵地の開発によって開発区域の保水力の大幅な低下が予想されるが、排水計画の考えを尋ねる。

②美作市都市計画マスタープラン、用途地域の変更には性質上、住民との意見調整は絶対必要である。地域のどの立場の方と相談されているのか。今後、地域への説明の予定はあるのか。

③市道榎原下中尾線クローネコヤマト前の交差点改良に伴う周辺信号機の増減において、近辺で生活されている目の不自由な方にとって大変な不便をかける

恐れがある。今後の計画において格段の配慮を要望するが、現時点での考えを尋ねる。

**答** 市長答弁：①開発に伴い変化する雨水排水に対応するため、雨水計画を見直している。排水計画については、令和5年度より豊国原・北山地区を美作市公共下水道事業全体計画の対象地域とし、地域の実態・実情に合わせて浸水被害を最小化する取組を具体化していきたい。②マスタープラン・都市計画の用途事業変更には、法律的手続きがあるが、その中に住民との意見調整が含まれていると認識している。今後、対象地域の方々と情報交換・意見調整を行うべきと考えている。③交差点改良における信号機のあり方について、目の不自由な方への特段の配慮が必要なことを念頭に置き、音声信号・点字ブロックの設置等、具体的な要件を聞ける体制を整えたい。

○他の質問：「令和5年度補正予算について」、「令和6年度一般会計予算」、「美作岡山道北部延伸について」、「上下水道事業について」、「公共施設管理について」、「彩菜みまさか貸面店の土地購入について」、「企業誘致について」、「自衛隊体育学校・輸送学校の誘致について」、「みまさか商工会商品券配布について」、「事業用発電パネル税について」、「不登校特例校について」、「特別教室のエアコン設置について」、「小中学校の英語教育について」、「新庁舎・防災公園について」



# 一般質問

◆一般質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。  
◆3月定例会の一般質問発言順に掲載しています。  
◆各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることが出来ます。



## ◆作東レインボーホールについて

**問** 利用日に制限が設けられたが、従来どおりにならないか。また、施設の増改築(葬儀控室・葬儀室・駐車場の増設、僧侶室の新設)はできないか。

**答** 委託業者との協議の結果、費用対効果を考慮して、令和6年度からは利用がほばない友引の日の火葬は引き続き使用できないこととするが、友引の日の翌日は火葬が可能のため、通夜での利用は利用できる体制を整える。近年は家族葬、親族葬といった小規模化等が進み、個人・地域の方の葬祭への認識が

変容している。ニーズの全てに対応することを想定していない施設であり、不便な面もあるが、公営の斎場がどの程度まで施設の整備を行えば良いかは、今後の動向を見極める必要がある。今回のご提言を参考とし、対策を検討したい。

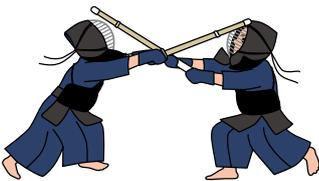
○他の質問：美作市農林業の現状と問題について



## ◆武蔵道場について

**問** 今後スポーツ施設として活用できるのか。文化財として維持管理できないか。利用促進のため武道のみならず、むさしこども園等、地域にさらなる利用を促してはどうか。市としての方向性は。

**答** 今後も武道を中心としたスポーツ施設として利活用を進める。現在、週3回の定期利用と夏休みに学生による剣道合宿等で利用している。過去に指定された文化財と照らし合わせ、文化財登録の要件(造形の規範となるもの、再現が容易でないもの)に該当しないため文化財登録は難しい。むさしこども園



も園には周辺散策の遊び場等、利用の協力を要請していく。歴史ある建物で今後も長く利用できる施設として必要な修繕箇所を確認し、施設の維持管理に取り組む。

○他の質問：スズメバチ等駆除費について



## ◆子育て世代への支援について

**問** 昨年の一般質問で副市長から「本市独自の子育て支援策を当初予算に要求し子ども政策会議の座長として着実に取り組む」と力強い答弁があったが、状況はどうか。

**答** 新規の子育て支援事業に約2,600万円を当初予算案に

計上しており、不妊治療助成の拡充やひとり親応援事業の医療費の負担軽減等、予算案に反映している。支援策の情報発信にも力を入れたい。

### ◆大災害時の避難先について

**問** 能登半島を襲った震度7強の地震と大雨による堤防決壊等、大災害を想定した時の長期避難先について。

**答** 二次避難先として、応急仮設住宅(市有グラウンド等候補地10か所)、公営住宅等を利用する。また、福祉避難所7施設、ホテル・旅館等14施設と防災協定を締結しており、これらを組み合わせ避難先の確保をする。



○他の質問:「ビル防火改修と救急車の要請について」、「認知症基本計画について」



なかやま ただあき  
**中山 忠明**



### ◆市民が安心して暮らせる街作りと都市計画について

**問** 安心・安全に暮らせるまちづくりとはどのような街か。

**答** 脆弱な立場の方へのニーズに配慮した街、自然災害に強い街、居住エリアの環境が整い利便性が高い街等が考えられる。都市計画マスタープランを見直し、限られた土地、資源を有効に配分し、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保を目的とした都市計画ビジョンを作成する。



### ◆幕谷火葬場について

**問** 幕谷火葬場の現状と今後について。

**答** 現在ある施設の大規模改修により、喫緊の更新の必要がなくなつた。今後の在り方については、火葬場等基本構想の趣旨を踏まえ、市民の声を聞き検討する。令和7年度頃を境に、需要が減少していくことを予測しており、将来的に必要な炉数を4炉と算出している。ニーズの動向を見極め、統廃合、増改築等の対応を取る必要がある。

○他の質問:「武蔵道場建替について」、「東栗倉地区の愛の村パーク改修費用について」



くらち しげお  
**倉地 重夫**



### ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略「儲かる農業の取組」について

**問** もち麦やエゴマなどを取り組むとしているが、現在の状況は。

**答** もち麦は、水溶性食物繊維の含

有量の高いフクミファイバーという品種に取り組み、差別化を図っている。もち麦みそや手延べもち麦うどん



等、加工食品としての販売もあり、彩葉茶屋での直接小売りや食物小売業者等を通じてほぼ100%販売できている。令和5年度には59ヘクタールで栽培され、取組農家の収入アップに繋がっている。エゴマは、生産部会が結成され、助成金にて支援しており、電動脱穀機の導入等意欲的に取り組んでいる。新たな農産物の研究として、金ゴマ、大豆、桜餅を包む桜葉の生産に取り組んでいる。また、新規就農者は3名(ブドウ栽培2名、きくらげ栽培1名)が加わっている。

○他の質問:「緑の食料システム戦略について」



たむら ひであき  
**田村 秀昭**



◆美作市の地方創生政策の成果と反省

問 地方創生が始まって10年、取組と成果は。第2期総合戦略の進捗状況は。1万5千人となる人口予測への対策は。第3期の方向性は。

答 目標値設定の半数項目で成果を得た。達成率では、出生者数(5年で1千人)33%、合計特殊出生率66%、新規雇用創出8%未満。達成率上位は、子育てサポート満足度が99%、市外から定住促進住宅への転入が93%。デジタル田園都市国家構想総合戦略の①仕事をつくる②人の流れをつくる③結婚・出産・子育ての希望を叶える④魅力的な地域をつくるという4つの取組に傾注し、第3期策定を進める。自然減を社会増で補おうとするが、高等教育機関、自

衛隊体育学校等の誘致は進展なし。少子化の中での学校再編は、小規模校の維持を視野に入れ検討。



なかたに ゆうすけ  
**中谷 祐輔**



◆孤独・孤立支援について

問 近年の社会変化により年齢、性別関係なく、社会との繋がりが薄くなっている。孤独・孤立は身体や精神等に大きな影響を与える。また、高齢化が進むに伴い、孤独死の増加も予想されるため、1人でも多くの命を繋ぐ支援をお願いしたい。現在の対策、支援について尋ねる。

答 令和4年から重層的支援体制整備事業を実施し、美作保健セ

ンターに総合相談支援センターを社会福祉協議会への委託事業として設置している。高齢者、子ども、障がい児者、生活困窮のそれぞれの福祉担当課の縦割りを取り除き、分野を問わない断らない相談にに応じている。分野を横断する複層的な問題でもある孤独・孤立対策についても支援センターが司令塔となり、迅速かつ適切な支援を行っている。

○他の質問：「教育委員会について」



◆市営住宅の解体跡地について

問 跡地をどのように活用するのか。

答 分譲宅地や地域のふれあいの場として休憩施設や、子どもの遊具等を備えた中に防火水槽等を設置する用地としての活用方法を考えている。



◆森林環境譲与税について

問 森林環境譲与税を活用した新たな取り組みを考え、林業事業体を補助する(林業機械のリース補助等)考えはないのか。

答 新たな取組として、以前から取り組んでいる森林整備推進補助事業等の財源として森林環



もりもと すえのぶ  
**森元 末信**



境譲与税を充当し、美作市産材  
 利活用事業等で補助金等のか  
 さ上げを予定している。林業事  
 業体の補助は、現在実施の意向  
 調査による官民一体整備の森  
 林面積が増えることから、森林  
 整備に係る人材育成、担い手対  
 策、林業機械等への補助を検討  
 する必要があると考える。



◆農業用資材等の処理費支援  
 について

問 農家は、JAが行う農業用廃プ  
 ラスチックごみや廃農薬の収  
 集事業を利用し、廃プラ等の処  
 分をしている。収穫後の処理費  
 が重い負担となっているため、  
 全額助成はできないか。また、  
 近隣自治体の取組について尋  
 ねる。

答 JAは例年11月頃に、農家から

使用済みプラスチックを回収し、  
 業者に委託して処理をしている。  
 市では対象経費の3分の1、令  
 和3年度から上限150万円  
 に引き上げ助成をし、農家の負  
 担軽減を図っている。近隣の状  
 況は、勝央町はJAに委託し、  
 令和4年度から利用者の費用  
 負担はない状況。奈義町は、処  
 理手数料の2分の1、1kg当た  
 り50円を上限に農家に補助を  
 している。  
 不要になっ  
 た農薬処理  
 の補助等を  
 行っている  
 市町はない。



○他の質問：

「フレイルサポーター制度につ  
 いて」、「認知症について」、「第  
 3セクターの民間移譲につ  
 いて」

◆学区及び学校施設等の整  
 備などについて

問 今後の学区の見直し及び整  
 備計画等について。また、北小  
 学校の屋内運動施設の広さは、  
 入学式、卒業式に全校児童が出  
 席できない。新たに建替え等が  
 検討できないか。



答 統廃合について段階的に進め  
 ていたが、その成果をまとめ、  
 課題点を精査している。少子化  
 に伴い、規模の適正化、適正配  
 置について統廃合整備計画を  
 まとめていく。大規模校の場  
 合、上級学年のみが式典参加で  
 対応している自治体がほとん  
 どである。  
 リモート  
 中継で行  
 う等、学  
 校側の工  
 夫により



やりくりは可能。  
 市長答弁：新庁舎の建設が進ん  
 であり、北小学校区域内の一大  
 事業。良質な宅地を提供するこ  
 とで新たな居住を生み、子ども  
 が集まることも考えられる。対  
 策が必要であれば検討する。



◆子ども・子育て支援におけ  
 る新たな取組について

問 現在の取組について。また、新  
 たな基金を醸成し、事業を推進  
 させていく考えはあるか。

答 子ども政策会議では、市の職員  
 を中心に民間業者等、柔軟なメ  
 ンバー構成とし、様々なアイデ  
 アを出し合い、現在の支援策の  
 拡充や新たな支援策を検討し  
 ている。新規の子育て支援事業  
 を中心に約2,600万円を新  
 年度予算に計上している。現在  
 実施中の少子化対策や子育て

支援事業は、美作市を応援したいとの気持ちにのっとり、ふるさと美作応援基金を活用している。新たな基金創設のためには、基金積立の原資を確保しなければならぬ。子育てに対する寄付や交付税拡充の実施等、あらゆる原資確保については、施策の調査・検討を並行して考えていく必要がある。

○他の質問：「高齢者の命と生活をまもるために」、「能登半島地震を教訓に美作市として取り組むべきこと」、「市内の保幼小中の安心・安全対策について」



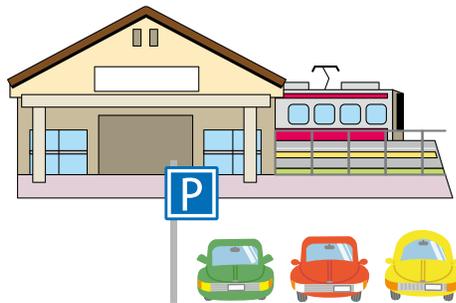
◆智頭急行の開業30周年と大原駅周辺整備について

問 30周年を迎える智頭急行とタ  
イアップし、智頭急行沿線市町  
村も交えて記念行事を行い、美  
作市への観光人口の取り込み  
を実施してはどうか。また、大  
原駅駐車場は13台しか置けず、  
スペースも狭い。美作市の北の  
玄関口として大原駅の周辺整  
備が必要と考えるが、今後の方  
針を尋ねる。

答 開業30周年記念行事について  
は、智頭急行内にプロジェクト  
チームを立ち上げ、企画検討す  
るとのこと。市としても智頭急  
行の記念行事の取組を踏まえ、  
智頭線利用促進協議会等で沿  
線市町村と連携を取りながら  
検討を進める。駐車場について  
は、駅隣接の土地所有者と交渉  
を進めている。協力いただけ

ば、現在ある駐車スペースに加  
えて約10台の駐車場が確保で  
きる。

○他の質問：「旧東粟倉幼稚園の  
活用について」



◆美作市まち・ひと・しごと創  
生総合戦略の状況について

問 豊かな農地を活かした産業で  
基盤をつくれぬか。

答 収益を上げる

形として、高付  
加価値のある  
農産物を栽培  
し差別化を図  
る方法等、様々  
考えられる。美  
作市には、彩菜  
茶屋等があり  
消費者ニーズ  
を確認しながら販売できる強  
みがある。JA等、各種団体と  
連携を取り農業振興に寄与で  
きるよう努める。



市長答弁：多面の一括管理・集  
約化において美作市は全国的  
なモデル地区になりつつある。  
中山間を取り込み、各種の農業  
助成制度を活用できるように  
構想を練っている段階。

◆傷病者の救急搬送の受け入  
れ先について

問 近隣で受け入れ先が見つから  
ない時の対応は。

答 県内外を問わず迅速に搬送で

きる医療機関を順次選定している。命の危険がある場合は、ドクターカーまたはドクターヘリを同時出動要請し、搬送している。



かなだにのりこ  
**金谷のりこ**



◆障がいのある人やひきこもりの人の一般就労支援について

問 多様な個性を持つ従業員が力を発揮することで大きな革新を生み、企業の発展と成長に繋がってきた。総社市では障がい者1000人雇用を達成し、1500人雇用に向かってい

る。美作市においても、障がいのある方を含めた多様な人材の力で次世代をつくる必要がある。障がい者雇用が企業に必要不可欠との啓発が必要であると思うが、どのように考えているか。

答 市長答弁：障がい者雇用で就労された方が貴重な戦力になっており、障がい者雇用は特別なことではなく、普通のことという意識を持つべきである。そして、美作市では、障がい者の教育機会を充実することを目標の一つとしており、学びの多様な学校も指定が下りる予定。次には、就労支援の強化を考えたおり、総社市についても勉強したい。

○他の質問：「美作市の『親なき後問題』について」



## 審議結果 3月定例会

賛否が分かれた議案等の採決結果

議員名	審議結果	中谷祐輔	神原一寿	山本真樹	森元末信	田村秀昭	新免仁憲	角南良雄	西村大司	和田いさお	青山慶	和田広宣	西山正志	中山忠明	倉地重夫	金谷のりこ	鈴木悦子	安藤功	山本雅彦
鈴木悦子議員に対する再度の議員辞職勧告決議について	可決	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	除	○	議
議案第25号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議
議案第34号 令和6年度美作市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議
発議第3号 美作市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議

- 賛成：○ 賛成でない：× 除斥：除 退席：退 欠席：欠 議長：議（議長は表決に加わりません。）
- 賛否状況は、議員の申告等に基づいて作成しています。
- 他の議案は全会一致で可決しました。

## 議員定数18人から16人に（2名削減） - 令和7年4月の選挙から適用 -

＜発議第3号＞美作市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について  
美作市議会議員定数「18人」を「16人」に改める条例で、賛成多数で可決しました。

## 予算審査特別委員会報告 令和6年度予算を可決

委員長・・・山本真樹 副委員長・・・中谷祐輔 委員・・・全議員

3月4日、6日、7日に予算審査特別委員会を開催し、一般会計、特別会計8件、公営企業会計3件の審査を行い、すべての予算について可決しました。

# 産業建設常任委員会の報告

委員長 西山正志 副委員長 森元末信  
委員 神原一寿、和田いさお、青山慶、中山忠明

3月8日開催【議案9件、陳情1件】

議案第18号 美作市企業立地促進  
条例の廃止について【可決】

産業団地の完売により、企業立地  
から地場企業の投資促進へ移行  
するもの。

議案第19号 美作市バレンタイン  
パーク作東・冒険の森設置及び管  
理に関する条例の廃止について【可  
決】

設備を解体撤去し施設を廃止す  
るもの。

議案第20号 武蔵の里研修センター  
設置及び管理に関する条例の廃止  
について【可決】

施設を解体撤去するもの。

議案第21号 美作市水道事業給水条  
例及び美作市水道法施行条例の一  
部を改正する条例について【可決】

水道法の一部改正により所要の  
改正を行うもの。

議案第22号 市道路線(後山内1  
路線、福本地内1路線)の変更につ  
いて【可決】

議案第23号 市道路線(城田中線)  
の廃止について【可決】

議案第25号 令和5年度美作市一  
般会計補正予算(第8号)産業建設  
委員会所管分【可決】

下水道事業出資金2,700千  
円、観光振興助成金2,512千  
円。

議案第32号 令和5年度美作市水  
道事業会計補正予算(第3号)【可  
決】

事業確定見込に伴うもので、収入  
では企業債23,000千円の減額、

支出では建設改良費53,600千  
円の減額。

議案第33号 令和5年度美作市下  
水道事業会計補正予算(第2号)  
【可決】

収益では下水道使用料、一般会  
計繰入金72,970千円の減  
額。費用では維持管理費72,  
970千円の減額。

陳情第2号 森林環境譲与税の使  
途についての陳情書【趣旨採択】

林業事業者への支援拡大を求め  
るといふ点で趣旨採択とした。

## 主だった議案質疑内容

問 武蔵の里研修センターの廃止  
について。

答 廃止部分は、武蔵の里研修セン  
ター、大広間、バーベキューハ  
ウスの3施設。今後は、旅行コ  
ンサル業者やデベロッパ等  
の意見を聞き、進めていく。周  
辺に武蔵神社、武蔵武道館、武  
蔵道場等が備わっており、古町、  
後山の観光施設も活用するた  
め、新たに観光施設を作ること

にはならない。数十名規模の  
宿泊施設は必要と考えるが、ラ  
ンニングコストに投入できる  
財源について、単年度で1千万  
円以内と考えている。資料館は、  
武蔵生誕地の義務として収蔵  
品を公開していく必要がある  
と考えている。

問 彩菜みまさか箕面彩都店に伴う  
第1駐車場の土地購入について。

答 土地所有者のUR都市機構と  
の協議の中では、事業用定期借  
地契約を締結していれば優先  
的に土地を購入する事ができ  
る。市が購入するためには、事  
業用定期借地権を株式会社ケ  
イ・ジエイ・ワークスから譲渡  
していただく必要があったが、  
破産したため購入ができない  
状況である。破産管財人とは  
情報交換を行い、市が第1駐車  
場を購入希望の意思表示はし  
ているが、敷地内の建物には金  
融機関の根抵当権が設定され  
ており、難しい状況であるため、  
今後どのような財産処分にな  
るか待つかない。現在の運  
営に影響はない。

# 総務常任委員会の報告

委員長 新免仁憲 副委員長 山本真樹  
委員 中谷祐輔、角南良雄、和田広宣、山本雅彦

## 3月11日開催【議案11件】

議案第2号 美作市・西栗倉村ケールテレビ加入者使用料徴収等の委託事務に関する規約の廃止について【可決】

議案第3号 美作市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び美作市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について【可決】  
会計年度任用職員に対して勤勉手当の支給が可能となったため、所要の改正を行うもの。

議案第5号 美作市作東B&G海洋センター管理運営に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

市内社会体育施設と同等の使用料にするもの。

議案第6号 ふるさと美作応援基金及び寄附に関する条例の一部を改正する条例について【可決】  
企業版ふるさと納税を基金に積み立て、翌年度以降の事業に活用できるようにするもの。

議案第7号 美作市社会体育施設条例の一部を改正する条例について【可決】  
大野体育館を大野コミュニティセンターの一部として整理し、社会体育施設条例から削除するもの。

議案第17号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について【可決】

議案第24号 美作市内の辺地(右手、江ノ原、中谷)に係る総合整備計画の変更について【可決】

議案第25号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第8号)総務委員会所管分【可決】

分収市有林立木売買地元負担金2,889千円、住民基本台帳システム等改修委託料14,981千円。

議案第26号 令和5年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)総務委員会所管分【可決】

財政調整基金繰入金55,699千円の減額等。

議案第28号 令和5年度美作市公園墓地事業特別会計補正予算(第1号)【可決】  
基金積立金51千円を増額。

議案第31号 令和5年度美作市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【可決】

保険料収入と基盤安定繰入金等の減額により、後期高齢者医療広域連合納付金を19,386千円の減額。

## 主だった議案質疑内容

問 現在、市の集団検診はどうなっているのか。受診勧奨を行っているか。

答 検診については現在のところ個別検診で対応している。受診勧奨についてはコロナ禍ということがあり、訪問・受診ともに控えていたが、令和5年度は昨年度より多くの訪問をしており、受診に繋がるよう努力している。



問 個別検診では高齢者が病院に行けないということがある。以前、コロナ禍が終われば集団検診が復活する可能性があるとの答弁だったが、集団検診を実施することは考えているか。

答 検診方法については、健康政策課と協議しながら進めていく。集団検診に向けて今のところ具体的な動きはない。精度の高い個別検診の方が健康維持のため効果的であるという考え方を前面に出しているが、そのためには個別検診の受診率を向上させなければならない。

# 文教厚生常任委員会の報告

委員長 田村秀昭 副委員長 西村大司  
委員 倉地重夫、金谷のり子、鈴木悦子、安藤功

3月12日開催【議案15件】

議案第4号 美作市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

市内全校に学校運営協議会を設置するもの。

議案第8号 美作市特定疾患医療附帯療養交通費支給条例の一部を改正する条例について【可決】

交通費の額の算出方法を変更するほか、支給対象となる疾患を追加する等の見直しを行うもの。

議案第9号 美作市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

前年の所得税が課せられているひとり親家庭等について、医療費の自己負担割合を3割から1割

に軽減するもの。

議案第10号 美作市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例について【可決】

作東老人保健施設で医療型ショートステイ事業所の指定申請を行うもの。

議案第11号 美作市農村高齢者交流施設「二友荘」設置及び管理に関する条例の廃止について【可決】

議案第12号 美作市介護保険条例の一部を改正する条例について【可決】

保険料額を改正するもの。

議案第13号～第16号【可決】

令和6年度の介護報酬に係る改定に併せて条例の一部を改正するもの。

議案第25号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第8号)文教厚生委員会所管分【可決】

予防接種事業に係る国庫支出金返納金14,693千円。

議案第26号 令和5年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)文教厚生委員会所管分【可決】

議案第27号 令和5年度美作市介護保険特別会計補正予算(第3号)【可決】

議案第29号 令和5年度美作市老人福祉施設事業特別会計補正予算(第1号)【可決】

議案第30号 令和5年度矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計補正予算(第1号)【可決】

## 主だった議案質疑内容

問 学校運営協議会の委員報酬の決定方法は。

答 他自治体に倣い年額5千円を基準として日額1千円とした。

問 保育士の報酬減額の理由は。保育士負担軽減の取組は。

答 保育士の配置基準は満たしているが、予定していた会計年度職員の加配採用ができなかったため予算を減額する。また、保育支援システムの導入により負担軽減を図る。

問 特定疾患医療附帯療養交通費は支給上限があり、距離により差が生じるが、上限額は適正か。

答 遠方の方の負担が大きくなるが、上限額5千円は近隣自治体と同程度である。

問 保育所の広域入所委託料について。

答 他市町村への広域入所12名見込みが8名の利用。逆に、他市町村からの受け入れ2名見込みが22名となり収入増。

問 子宮頸がんワクチン接種委託料の減額について。

答 定期接種及びキャッチアップ接種(国の積極的推奨の差し控えにより接種機会を逃した方への接種)が見込みよりも少なかった。現在は、積極的推奨を行っている。

# 美作市庁舎・文化施設・防災公園 建設特別委員会の報告

委員長 和田広宣 副委員長 森元末信 委員 全議員

3月7日開催【議案1件】

議案第25号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第8号)美作市庁舎・文化施設・防災公園建設特別委員会所管分【可決】

新庁舎事業に係る財源を合併特例債から森林環境基金に更正。

## 主だった議案質疑内容

問 森林環境基金を財源にするこ  
とで、財政上有利になるのか。

答 この基金は森林環境譲与税を  
積み立てたもので、国からの交  
付金と同様に考えれば起債よ  
りも有利。譲与税の目的に沿っ  
て、森林整備を中心とした事業  
に充当しているが、その余力部  
分を新庁舎事業の市  
産木材の加工業務に  
充当することが、両  
事業に有益と考えた。



## 新庁舎の建設状況について

～新庁舎・防災公園区域における新たな字名の設定について～

執行部から、合併20周年の節目でもあり、新たな住所地に新庁舎を開庁することで、更なる一体感の醸成に向けた決意にもなるとのことから、市内の小中学生を対象に公募し、新たな字を新設する方向で提案がありました。委員からは「地名に愛着があるため地元等の意見を尊重すべき。地名の持つ歴史等を後世に伝える必要がある。」等の意見がありました。一方で、「次世代が愛着ある名前を考えて発展させてもらうことは大事。合併20周年の節目に将来を担う小中学生に公募する趣旨は良い。」等の意見がありました。協議の結果、本委員会として字名を変更する方向で決定し、新名称の募集・選定方法も協議しました。新たな字が、市民の一体感を高める一助となり、次世代を担う世代に親しまれる名称になることを願っています。



▲工事状況写真(3月中旬)

# 議会改革特別委員会の報告

委員長 安藤功 副委員長 神原一寿 委員 全議員

議員定数については、令和3年4月の市議会議員選挙で現在の議員構成となり、令和3年8月31日に議会改革特別委員会を立ち上げて以降、特別委員会の最重要事項の一つとして議論を重ねて参りました。特別委員会では、全国の市議会の議員定数、岡山県内の市議会の議員定数、また議員1人当たりの人口や面積、美作市の今後の人口状況など客観的資料を議論の参考としました。全国の市議会の状況では、美作市の人口と同規模の2万人から3万人の市議会は、議員定数16人が中心であり、県内同規模市議会も同様に16人です。また、人口の推移として、全国人口問題研究所によると、美作市は人口減少が進み、令和17年には2万人を切るという状況が示されています。

議員定数削減に賛成の委員からは「人口減少が進む中、定数を維持することは困難である。県内の人口同規模団体で美作市より広い面積の自治体も議員定数16人とし

ており、18人を維持する根拠が見当たらない。時代に即応した考え方が必要である。」等の意見がありました。議員定数削減に反対(定数維持)の委員からは「住民意思の反映機能や執行機能に対する監視機能の低下が検討されていない。人口減少は間違いはないが、事業が縮小されるものではなく、より専門性が要求される。議員数削減により市民の声が届きにくくなる。」等の意見がありました。

「削減」、「定数維持」様々な意見がありました。3月13日の特別委員会において、議員定数を18人から2名削減し、次回行われる市議会議員選挙より16人とする条例の一部改正について、委員長を除く17人で採決し、賛成13、反対4の賛成多数で可決しました。議員数は減ることになりますが、市民の声を反映できるようにしっかりと議員活動を行っていく所存です。引き続き、特別委員会において議会改革について議論していきます。

## 6月定例会日程(予定)

5/29 (水) 本会議 (開会)	6/6 (木) 本会議 (議案質疑)
5/31 (金) 本会議 (一般質問)	6/13 (木) 常任委員会
6/3 (月) 本会議 (一般質問)	6/14 (金) 常任委員会
6/4 (火) 本会議 (一般質問)	6/17 (月) 常任委員会
6/5 (水) 本会議 (一般質問・議案質疑)	6/25 (火) 本会議 (閉会)

正式には議会運営委員会で決定し、みまちゃんネルデータ放送と美作市ホームページに掲載いたします。本会議は、みまちゃんネルで生放送いたします。また、本会議当日の夜も再放送いたします。

## 請願・陳情について

市政に対して要望があるときは、請願・陳情を市議会に提出することができます。

請願書の提出には議員の紹介が必要となりますが、陳情には議員の紹介は必要ありません。

議会で受け付けた請願・陳情は、関係する委員会で審査し、本会議で採択されたものは、執行機関に送付いたします。本会議開催前には締切日が定められますので、詳しくはお問い合わせください。

なお、請願・陳情に記載された個人情報につきましては、本会議での請願・陳情の付託の議事や委員会での審査に用いるほか、請願・陳情の内容等の問い合わせに使用することがあります。また、提出者の個人情報が記載された文書は、本会議や委員会で議員のほか市長その他執行機関の関係職員に配布されます。

議会事務局 ☎0868-72-0922

## 市議会からのお知らせ

本会議(定例会・臨時会)は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。

本会議の傍聴を希望される方は、市役所4階の議場受付で住所・氏名等を記入の上、入場してください。傍聴者には傍聴券を交付します。

市議会の本議会がみまちゃんネルとインターネット(YouTube)でご覧いただけます。

※インターネットで閲覧できるのは代表質問、一般質問に限ります。

インターネットで閲覧される場合は、YouTubeで次の内容を検索してください。

岡山県美作市議会公式チャンネル



岡山県美作市議会  
公式チャンネル

## 編集後記

新緑の候、新年度の様々な行事も一段落したのではないでしようか。この議会だよりも第9号の発行となりました。

一般質問、各委員会の報告、議案審議等を掲載しておりますが、この議会だよりを通じて、1人でも多くの方に議会や市政に関心を持っていただき、議会の様子をお伝えできればと思います。

3月定例会では、令和7年4月の選挙から議員定数2名の削減を決定し、議会として大きな決断をいたしました。今後も議会だよりを通じて、議会の活動をわかりやすく伝え、親しみやすいものとなるよう努めてまいります。

(神原一寿)

### 議会だより発行特別委員会

委員長 中山 忠明  
副委員長 中谷 祐輔  
委員 神原 一寿  
山本 真樹  
西村 大司  
倉地 重夫

倉地 重夫

